



# おる・きる・ひろげる もんきりあそび 1

紙をおりたたんで、型紙のとおりに切って、そっとひらくと・・・日本の美しいかたちがあられます。  
「もんきり」は、もともとは家紋を描くための技でしたが、江戸時代ごろからたのしい遊びとしても広く知られていました。そしてそのかたちは、日本人のこころを形にしたものだったのです。

材料：おりがみ、はさみ

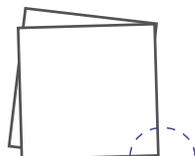
つくりかた

①おりがみを折る。(正方形の紙ならなんでもOK)

おり方 A 一つ折 (1回半分におる)



おり方 B 二つ折 (Aを半分におる)



下が輪

ここが中心

②型紙を切る

👉 次のページに型紙があります。

③折った紙の上に型紙をおいて輪郭をなぞる

④輪郭のとおりに切り、  
そっと広げると・・・



まるむ  
丸に向かいつばめ

つばめが軒下に巣をつくると、  
その家は栄えるといわれてきました。  
良い知らせをあらわすかたちです。



一つ折用かたがみ

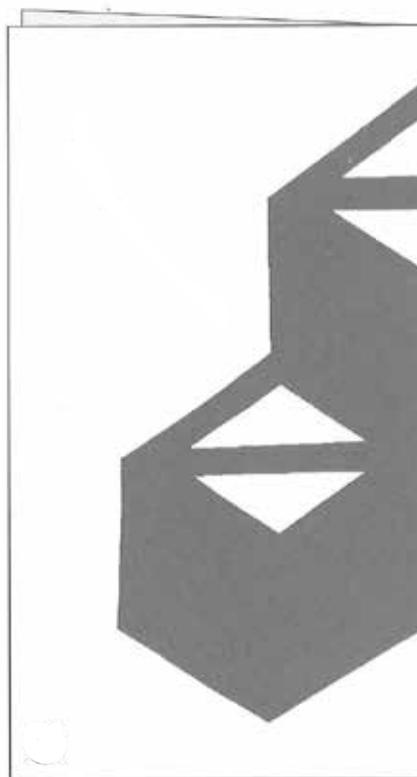
このかたがみをきっておったおり紙にのせて  
かたちをうつそう。

さあ、どんなかたちがあられるかな？



まるにふたつろうそく

電気がない時代、ろうそくはとても大切なもの。



かわりみつます

ますを三つかさねる。そのころは「ますます増す」めでたさがどんどん増えるように願いをこめて。



かわづ (かえる)

一つ折用かたがみ

このかたがみをきっておったおり紙にのせて  
かたちをうつそう。

さあ、どんなかたちがあられるかな？



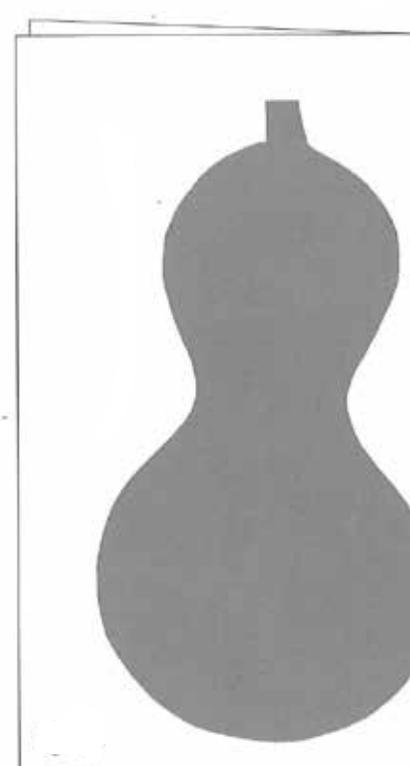
うらさくらちょう

さくらの花をうらがわからみた  
すがたをちょうにみたてています。  
すてき・・・



だきすみれ

えどじだいのひとたちは、  
のはらであそぶのがだいすき。  
はるのはなのかたち。



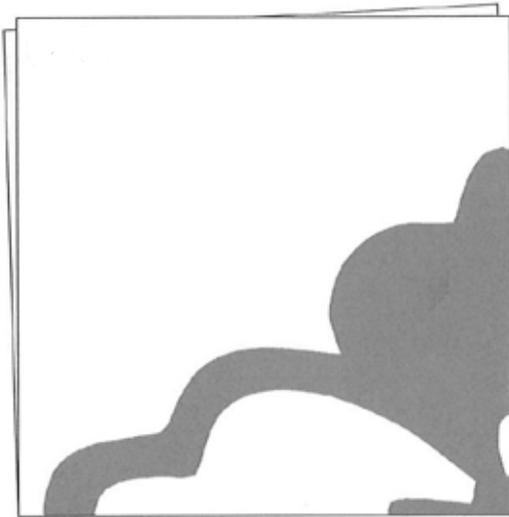
ふたつひさご

どんどんつるをのばしてたくさん  
みをつけるひょうたん。  
おめでたいかたち。  
それがふたつも！

二つ折用かたがみ

このかたがみをきっておったおり紙にのせて  
かたちをうつそう。

さあ、どんなかたちがあるかな？



いんようはなびし



まるにむかいつばめ

ひしがたとはなをデザインしたかたち。  
平安時代からのかたちです。